

こんなときは兵庫県弁護士会へ

兵庫県弁護士会では、様々な窓口を設け、市民の皆様のご要望にお応えしています。

犯罪被害にあったとき



犯罪被害者やその遺族の方への無料相談

犯罪被害者支援センター
078-341-8227

訴えられたとき



裁判等の当事者対象の無料相談

民事・家事事件当番弁護士
078-341-5000

借金・生活



借金による多重債務についての相談

神戸 078-341-1717
西播磨 079-286-8222
阪神・伊丹・川西・宝塚
06-4869-7613

高齢者・障がい者相談



高齢者・障がい者についての専門法律相談。来所・出張・電話相談可

高齢者・障害者総合支援センター
078-341-0550

逮捕されたとき (当番弁護士制度のご案内)



逮捕された方への当番弁護士派遣のお申込み

刑事事件
神戸 078-341-2940
阪神 06-6412-8030
明石 078-360-6056
播磨 079-224-7115
但馬 078-360-8301

法律相談したい



県下12箇所の相談所での弁護士による一般相談窓口。どこへ相談して良いか分からないという方はまずはこちらへ

総合法律センター

神戸 078-341-1717
西播磨 079-286-8222
阪神・伊丹・川西・宝塚
06-4869-7613
北播磨・山崎・南たじま・明石・淡路・丹波
078-351-1233

住宅でもめているとき



住宅紛争審査会での住宅紛争処理手続きについて

問合せ 078-367-3616
申込み 0570-016-100

仲裁・裁判外の解決 (ADR)



紛争解決センターによる和解あっせん制度のご紹介

問合せ
078-341-8227

遺言・相続



遺言や相続に関する無料電話相談窓口

遺言・相続センター
078-382-4115

中小企業相談



売掛金の回収や事業承継など中小企業にまつわる無料相談窓口

ひまわり中小企業センター
0570-001-240

消費者被害にあったとき



商品先物、証券取引、マルチ商法、インターネット取引、欠陥商品、欠陥住宅など、消費者被害に関する専門相談窓口

消費者被害救済センター
078-341-1810

労働相談



解雇や雇止め、賃金等の未払いなどでお困りの方のための労働相談窓口

総合法律センター又は法テラス兵庫
050-3383-5440

子どもに関する相談



いじめ、体罰、虐待、不登校、校則、少年事件などについての相談(無料)

子どもの悩みごと相談
078-341-8227

DV相談



DVとは何かのご説明や、支援の法制度、相談窓口などのご案内

総合法律センター又は法テラス
DV等被害者法律相談援助制度の申込
0570-079-714

空き家対策支援センター



空き家に関する法律問題に対応できる弁護士の紹介、自治体等での空き家問題セミナーへの弁護士派遣などを行います

空き家対策支援センター
078-341-5110

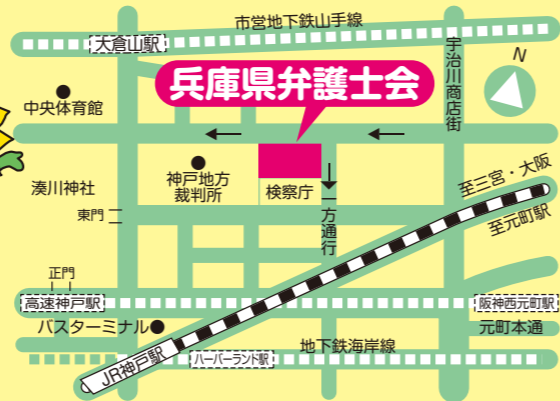
どの窓口かわからない場合でも、まずは、兵庫県弁護士会までお電話ください。

兵庫県弁護士会館

〒650-0016 神戸市中央区橋通1-4-3

TEL:078-341-7061

兵庫県弁護士会
イメージキャラクター
ヒマリオン
Since2001



信念と情熱をもって使命を実現する

谷口芳紀市長と中上幹雄会長の対談



谷口芳紀市長は、2000年（平成12年）相生市長選挙に初当選し、現在6期目です。相生市においては人口減少が深刻化しているため、「子育て応援都市宣言」をして、プロモーションビデオを作成したり、中学3年までの医療費や給食費を無料にしたりするなど、子育て支援や定住促進に力を注いでいます。

また、相生市は、「いのち輝き 絆ひろがる あいのまち」を実現するためにまちづくり目標を掲げ、市民の誰もが生涯を通して、健やかで自分らしく暮らせるまちを実現しようとしています。このような実践は、基本的人権の擁護を実現するという弁護士会の諸活動と同一線上にあるといえます。本年度、相生市は市制施行80周年を迎えることもあり、谷口市長の豊富な経験をもとに弁護士、弁護士会に向けたメッセージをいただきました。



■生まれ故郷、初心を忘れない

中上 私が生産県弁護士会の神戸本部ではなく姫路支部に所属していることもあり、今年度は兵庫県南西部エリアの地方自治体の首長とまずお話をしたいと考え、50音順で1番の地方自治体で、かつ、中高の先輩でもある谷口先輩が市長を務められている相生市に対談をお願いしました。

まず、市長が政治に関心を持たれたのはどうしてですか。

谷口 高校時代、姫路城の昭和の大改修中でした。改修中の姫路城を見て、「姫路城みたいに気高く、人から後ろ指を刺されないような人になりたい。」と決意しました。

高校3年生の時、社会学者マックス・ウェーバーの「職業としての政治」を読み、「政治は最高の道徳である」との言葉に感銘を受けました。そこで、慶応大学法学部の政治学科に進学しました。ゼミの先生は国際政治学者の神谷不二先生でした。その後、地方行政を学ぶために早稲田大学の後藤一郎先生のもとで学ぼうと思いましたが、逝去されたため、河本敏夫先生の秘書になり、50歳頃までいろいろ政治の勉強をさせていただきました。ご子息との代替わりのときに、二君に仕えることはないと考え、生まれ育った相生市長選挙に出馬した次第です。



■信念と情熱をもって

中上 市長は現在6期目ですが、22年間市政を担われてきて、苦勞をされたり、特に気を配っていたりする点はありますか。

谷口 どこの世界も一緒だろうと思うけれど、まちづくりに対する情熱、責任感、判断力、信念、使命感が大事だと思います。私は市のトップとして、最低10年先の未来を市民に示し、市民に対し希望を与え続けなければならないと思っています。

また、今は、役所だけが頑張るのではなく、市民と協同参画をする時代だと思っています。

そこで、私は、過去20年間、毎年7月～8月に、市民との対話集会を行ってきました。1時間30分ほどのうち私が30分ほど市政について話し、残りの1時間ほどは市民が質問します。市民は思いのたけを自由に述べますが、20年間続けてきたこと自体がよかったのだと思っています。

また、私は市民の意見を大切にしています。市民にはいろいろな意見の人がおり、直接、役所に言ってくる人も、メールで言ってくる人もいますが、私はメールについては全て目を通して見ます。

中上 市民との協同参画の実現を目指したり、市民の話を直接聞かれるという市長の姿勢は、私たち弁護士が事件関係者からじっくり話を聞く姿勢と繋がるものを感じます。谷口市長が市政を担われる中で、近年、増加している問題はありますか。

谷口 相続、空家、農業ですね。相続では、不動産を要らないという人が増えていて、道路が整備されていない部分や農業振興地域については要らない、市に寄付したいという人が多いです（もっとも、市としてはお断りしています）。また、住み手のない空き家も増えてきていますね。さらに、農家の方の平均年齢が70歳で、あと5年経ったら農業をする人がいなくなるのではないかと危惧しています。

人口減少は地域社会の活力を奪ってしまうので、国を筆頭にどの都道府県、市町村も真剣に考えないとけません。

中上 確かにそうですね。20年前の相続の法律相談では各相続人が不動産を取り合うことが多かったのですが、最近では田舎の不動産を押し付けあっているようなケースが散見されます。

■弁護士、弁護士会に期待すること

中上 空き家問題などで弁護士会に期待することはありますか。

谷口 空き家が増えるということは、その地域に住む人が減っているということを示します。そうすると、地域の活力が低下するだけでなく、公共交通機関、道路、水道、電気というインフラをコスト面で維持することが難しくなってきます。空き家の増加はその地域の魅力を低下させてしまう原因となってしまいます。

そこで、弁護士会から相生市の空き家対策委員会に弁護士を推薦してもらっています。担当してくれている先生が職員と共同して活動してくれています。



中上 全国で放置空き家が問題視される中、平成26年11月に「空家等対策の推進に関する特別措置法」(通称:空家等対策特別措置法)が成立し、平成27年5月から施行されました。

本会にも、空き家対策支援センターがあり、法律相談だけでなく、市民向けセミナー等への講師派遣もしていますので、相生市においても、また、近隣市町村においてもどんどん利用して欲しいと思います。

谷口 また、相生市は兵庫県弁護士会と昨年12月21日に災害時における連携協力に関する協定を締結しました。そして、協定に基づく講演を今年2月をお願いをしていた



のですが、コロナ禍のため実施できませんでした。8月に開催予定です。それでも、相生市は全国の市の中で50音順で一番最初のこともあり、播磨地域で一番最初に災害協定を締結できたことは良かったと思っています。

中上 平時から発災に備えることは相生市の「安心して暮らせる、強くなやかなまち」という目標に繋がりますね。当会の災害復興等支援委員会は、平時から自治体等との連携体制を構築し、災害が起こった時には、速やかに自治体のニーズを聞くとともに、被災者のための無料電話相談や出張相談を実施できるよう活動しています。

谷口 弁護士会は多様な活動をされているんですね。市政も弁護士さんと同じだと思いますが、課題に対し正面から信念と情熱をもって取り組むことが大事だと思っています。頑張ってください。期待しています。

中上 ありがとうございます。弁護士会として、今日の谷口市長のお話しを通じて託された数々の思いを受け取って、今後もしっかり活動して参ります。

(対談日 2022/5/16)



兵庫県弁護士会
イメージキャラクター
ヒマリオン
Since2001

対談後記



兵庫県弁護士会 会長 中上 幹雄

初対面かつご多用にもかかわらず、対談日は谷口市長が市長室の前で我々が訪問するのを待っていてくれました。また、帰りは市役所の玄関口まで見送っていただきました。大変感動しました。如何に経験と実績を積もうとも、初心を忘れず、一人一人の市民を大切にす市長の姿勢を見習って会務に邁進したいと思います。